

## 「すけっと」授業づくり 集団化と個別化の指導を通して



埼玉県公立小学校  
教諭 塩崎貴裕



1

- 1 授業構想
- 2 授業づくりのポイント
- 3 ポイントの具体化
- 4 研究実践



2



3

## 1 授業の構想 「逆向き設計」

知的学級における目指す児童像  
全員が参加でき、学び合いながら  
考える楽しさを感じられる子

ゴール = 目標設定

支援学級における児童の実態

- ◎ 一対一での個別学習では理解できる。
- ◎ 一斉授業の中では個々の活躍がしにくい。
- ◎ 理解や想像がなかなかできない。
- ◎ 児童の興味・関心をもちにくい。

実態 ⇒ 手立て

In the top right corner, there is a logo for 'すけっと セミナー' with the NISE logo. In the bottom right corner, there is a speaker icon.

4

すけっと セミナー

**まずは 子供の実態を把握しましょう！**

- 1 観察法
- 2 質問紙法
- 3 面接法

→

5

すけっと セミナー

ここでは、**学力面**の把握に焦点を絞ると・・・

**チェックリストの作成と活用**

学力面 = 学習指導要領の3観点の習熟  
「通常学級」 **特別支援学校**

**国語の読み書きチェックリスト**

①入門ステップ表

指導の順番・指導方法	チェック欄(○△×)
1 指示の聞き分け	
2 語い(ものや動き、マッチング)	
3 単音・発語(か・い・わ・て) 単音・発語(め・あし・て・くち)	
4 単語(くつ・いす・かさ・かばん)	
5 手をたたく(くり・かき・もも・りんご)	
6 動き(ずわる・あるく・かける・とまる)	
7 ことばのつながぎ(は みがく・て あらう・くるま のる)	
8 文字・線や形をかく	
9 文字の形のちがいを	
10 50音のマッチング	

言語発達

学年や国語部の先生、  
通級指導教室の先生  
とチームで作成！！

6

算数科 図形領域例

かたちの系統性<sup>①</sup>

すけっと<sup>②</sup> セミナー



個別に把握  
学級でも把握  
= 集団へ

学年 <sup>③</sup>	知識・技能 <sup>④</sup>	思考力・判断力・表現力等 <sup>⑤</sup>	おさえるべき用語 <sup>⑥</sup>
1年 <sup>③</sup>	ころがる つめる <sup>④</sup> まる さんかく しかく <sup>④</sup> さんかくでできる形 <sup>④</sup>	できるかたちの判断 <sup>⑤</sup> なかまの判別 <sup>⑤</sup> ころがしてできる形 <sup>⑤</sup> たおれたときにできる形 <sup>⑤</sup> わけた形 くっつけた形 <sup>⑤</sup> つみきの数の比較 <sup>⑤</sup>	かど たいら <sup>⑥</sup> 上下 前後 左右 <sup>⑥</sup>
2年 <sup>③</sup>	三角形の定義 四角形の定義 <sup>④</sup> 直角の定義 頂点 辺の定義 <sup>④</sup> 正方形・長方形の定義 <sup>④</sup> 正方形・長方形の特徴 <sup>④</sup> 直角三角形の定義 <sup>④</sup> 直角三角形の特徴 <sup>④</sup> 長方形 正方形 直角三角形の作図 <sup>④</sup> 面の形 辺の数 頂点の数 <sup>④</sup> 切り開いてできる形・面 <sup>④</sup>	三角形と四角形の分類 <sup>⑤</sup> 条件下により形を分ける <sup>⑤</sup> 直角の判別 <sup>⑤</sup> 正方形 長方形の判別 <sup>⑤</sup> 長方形 正方形 直角三角形の判別 <sup>⑤</sup> 作図条件の選定 <sup>⑤</sup> ならびかえると何になる? <sup>⑤</sup> ○○形は、いくつある? <sup>⑤</sup> 展開図は、あと○○が必要? <sup>⑤</sup>	直線 角 <sup>⑥</sup> 辺 面 <sup>⑥</sup> 直角 頂点 <sup>⑥</sup> 三角形 四角形 <sup>⑥</sup> 正方形 長方形 <sup>⑥</sup> 直角三角形 <sup>⑥</sup>
3年 <sup>③</sup>	半径、直径の理解 <sup>④</sup> コンパスでできる形 <sup>④</sup> 切り口 <sup>④</sup> 二等辺三角形の定義 <sup>④</sup> 正三角形の定義 <sup>④</sup> 二等辺三角形・正三角形の作図 <sup>④</sup>	半径、直径の判別 <sup>⑤</sup> 模様を何回でかける?? <sup>⑤</sup> ボールの切り口で一番大きいのは? <sup>⑤</sup> 三角定規を合わせた時にできる形の大きさの大小 <sup>⑤</sup>	円 円の中心 <sup>⑥</sup> 直径 半径 球 <sup>⑥</sup> 角の大きさ <sup>⑥</sup>

7

2 授業づくりのポイント

すけっと<sup>②</sup> セミナー

～つながる・かかわる～基本姿勢

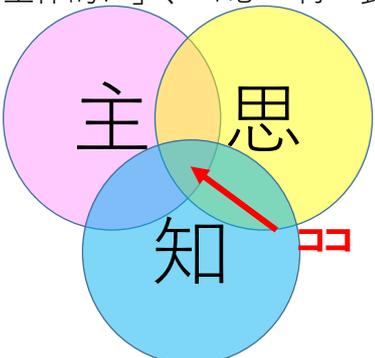
- 児童が興味をもつ題材の設定  
(生活から課題設定、学習、活用)
- 個々の読み書き計算に合わせた  
学習展開の工夫 (構造化とルーティン化)
- 授業UDを取り入れた取組、  
課題の解決に向けて友達と協働的に  
学ぶことのできる授業(スパイラル化)

8

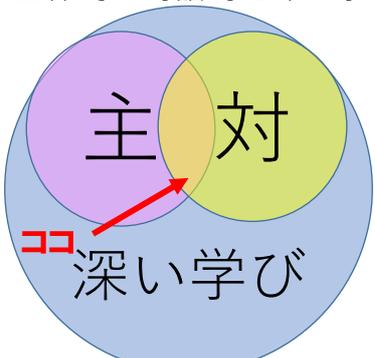


## 興味・関心をもった児童たちは… 実生活に活かせる確かな学力へと

「主体的に」、「思・判・表」



主体的・対話的で深い学び

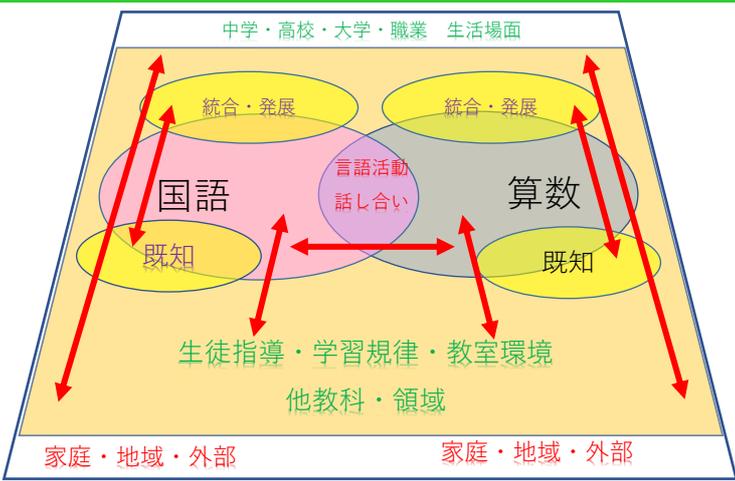




9



## 「つながる・かかわる」とは





10

### 3 授業づくりのポイントの具体化

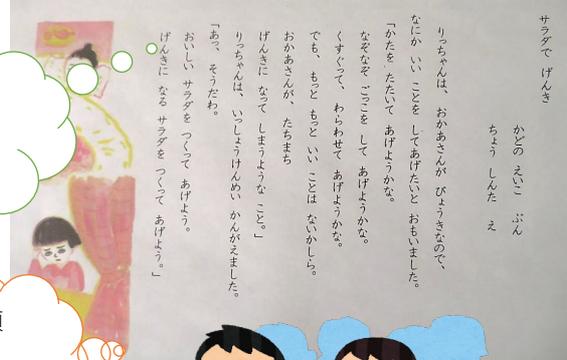
すけっと セミナー

#### ①題材の設定

- ・日常生活へ活かせる
- ・興味、関心がある
- ・身に付けさせたい力  
(金銭感覚、ルールなど)

野菜の名前、  
調理方法など

手紙の種類  
書き方  
出し方  
買い方



11

### 3 授業づくりのポイントの具体化

すけっと セミナー

#### ②視覚化と構造化

- ・板書
- ・時間
- ・ICT



12

すけっと セミナー

## 3 授業づくりのポイントの具体化

### ③ルーティン化 ・展開

国語 学習のすすめかた

- 1 音読をする。
- 2 漢字の読み書きをする。
- 3 今日の課題を確認する。
- 4 自力で読む。
- (教科書、タブレット)
- 5 先生や友達と話し合う。
- 6 まとめる。
- 7 早めに終わったら・・・
- 読書や漢字練習。

算数 学習のすすめかた

- 1 計算練習 5分間
- 2 今日の課題の確認
- 3 自力でやってみる。
- 4 先生や友達と話し合う。
- 5 まとめる。
- 6 練習問題をする。
- 7 早めに終わったら・・・
- 計算カードをする。
- (九九、たし算、ひき算)

出張等で学級を離れる時も児童が安心して取り組めるように。

13

すけっと セミナー

## 3 授業づくりのポイントの具体化

### ④スパイラル化

さいごのまね  
 さきがするどくと  
 がったくちばしです。  
 これは、なんのくちばしでしょう。

学期に1回ずつ、説明的文章を扱う。など  
 (例)動物教材で共通

14

# ④国語の実践研究

個別の学習の教材と集団の学習の教材の**連携**

ポイントを意識できれば、  
児童の実態に差があっても  
効果的に展開できる。

集団の指導：課題の焦点化、視覚化と構造化  
個別の指導：個の課題を明確化



15

# ①学力の実態把握(習熟)

○国語科 指導内容 実態把握表(低学年の指導が適当)

内容・学級・段階	小学部			中学部		高等部	
	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
1 知識及び技能	ア	○	□	□	○	○	○
	イ	○	□	□	○	○	○
	ウ	○	□	□	○	○	○
2 思考力・判断力・表現力等	ア	○	□	□	○	○	○
	イ	○	□	□	○	○	○
	ウ	○	□	□	○	○	○
読む	ア	○	□	□	○	○	○
	イ	○	□	□	○	○	○
	ウ	○	□	□	○	○	○
書く	ア	○	□	□	○	○	○
	イ	○	□	□	○	○	○
	ウ	○	□	□	○	○	○
読む	ア	○	□	□	○	○	○
	イ	○	□	□	○	○	○
	ウ	○	□	□	○	○	○
書く	ア	○	□	□	○	○	○
	イ	○	□	□	○	○	○
	ウ	○	□	□	○	○	○

○算数科 指導内容 実態把握表(中学年 2、3年生程度の学習が適当)

内容・学級・段階	小学部			中学部		高等部	
	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階
1 数量の基礎	○	○	○	○	○	○	○
2 数と計算 【数の概念】	○	○	○	□	○	○	○
【計算】	加法	○	○	○	○	○	○
	減法	○	○	○	○	○	○
4 測定	○	○	○	○	○	○	○
4 変化と関係	○	○	○	○	○	○	○
5 データの活用	○	○	○	○	○	○	○

目標の**焦点化**  
個別、年計へ



16

## ② 題材設定(個別・集団)

○集団の学習指導計画例 ※小学部3段階程度で考察		
教科別	学習内容	主なねらいと支援
生活	安全について考えよう イ安全 ※日常生活 → 地域の生活について調べよう → 社会の仕組みと公共施設	●消防署の役割を知り、防災の意識を高める。 →①状況と適切な行動を示す。 ②日々の生活の中で反復する。 ※理解から話を聞く。
国語	短冊文を読もう C 読むこと 文を書こう 3 語文 B 書くこと	●短い国語文の言葉の意味を理解し、いろいろな語句や表現の仕方によれる。 →①文章のまとまりごとに区切りながら読み進めていく。 ●2 語、3 語で構成する文を題材にして、主語と述語の関係を理解し、助詞の使い分けに気付く。対義語などを用いて文章をつくる。 →①絵カードで意味のちがいを示す。 ②正しい姿勢で文章を書く。
社会	電車に乗って図書館に行こう イ 公共施設と制度 地域の安全を守る働き ウ 地域の安全	●公共施設の役割を理解することができる。 →①公共施設の動画や写真を提示する。 ●地域の安全を守る施設・設備が理解できる。 →①実際に施設・設備の見学に行く。 ②その後、動画等で理解を促す。
算数	お金について学ぼう A 数と計算 グラフを書いてみよう D データ処理	●数のまとまりごとに着目し、4 位数まで範囲を広げて10 倍、100 倍を比較できる。 →①生活場面を想定したゲームを繰り返し行う。 ●身の回りにおける事象を目的に応じて表や棒グラフ、折れ線グラフに表現できる。 →①データの特徴に応じた分析方法を選択できる図を提示する。
理科	春を見つこう A 生命 イ 季節と生物	●初夏の校庭に咲く草花や生物の活動の変化を動画等で撮影して、予想や観察などを季節と関連させよう。

**【目標】**  
◎作詩  
◎言葉の意味

令和の大詩人はだれだ？

○題材のストーリー化 = ゴール設定  
○キャラクター登場！  
○集団と個別で学べる内容の吟味  
○授業UDを活用した展開など

17

## ③ 題材の目標設定

4 題材の目標

- 季節を表す言葉の分類をして、秋の言葉の意味や語句のまとまりがあることに気付く。(知識及び技能 小学部3段階 ア(エ))
- 秋の詩を自分に合った正しい姿勢(指遣い、詩のプリントを持って)で音読する。(知識及び技能 小学部3段階 ア(カ))
- 季節を表した言葉の分類と技法を知り、オノマトペやリズムに親しむ。(小学校第1学年及び第2学年 2内容(3)イ)
- 童謡の詩の語句を知り、描画にしたりまとまりに気をつけて音読したりする。(小学校第1学年及び第2学年 2内容(1)オ)
- 秋の童謡の詩の語句について絵にして、朝・昼・夕方などの時間の順序など大体的内容を捉える。(思考力、判断力、表現力等 小学部3段階 C 読むこと イ)
- 秋の童謡の詩の中心語を捉え、中心語に合った動作をして音読する。(思考力、判断力、表現力等 小学部3段階 C 読むこと エ1)オ)
- 粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけ、学習課題に沿って詩のよさが伝わるように楽しんで音読したり演じたりしている。(学びに向かう力、人間性等 )

通常学級、  
特別支援学校の  
学習指導要領の目標  
から。

実態把握⇒目標設定  
小学部の目標達成  
⇒× 中学部の目標  
⇒○ 小学校目標の  
一部取り入れ可能

18

## ③ 題材の評価基準

5 題材の評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体性に関与する態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。</li> <li>● 言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。</li> <li>● 意味による言葉のまとまりがあることに気付いている。</li> <li>● 様子を想像しながら音読したり詩の情景を描いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語のまとまりやリズム、言葉の響きなどに着目し、詩の内容の大体を捉えようとしている。</li> <li>● 詩に出てくるトンボや語り手の視点になったつもりで音読したり演じたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進んで身の回りや経験したことの中から秋に関する言葉を見つけ、学習課題に沿ってねばりよく最後まで詩の情景を動作化したり絵に描いたりしている。</li> </ul>

## ③ 題材目標の設定(集団)

本題材の教科別 国語科における個別の実態の達成度○と目指す達成度●  
(思考力・判断力・表現力等)

	思考力・判断力・表現力等	A	B	C	D	E	F	G	H
1 知っている事物(秋に関すること)を指さすことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 登場する物を思い浮かべることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 登場する物に関することを模倣することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 絵に言葉を結び付けることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 言葉と絵を結び付けることができる。	●	●	●	○	●	○	○	○	○
6 言葉を分類できる。	●	●	●	●	●	○	○	○	○
7 音数から詩のリズムがわかる。	●	●	●	●	●	○	○	○	○
8 詩の内容から題名が想像できる。	○	○	○	●	○	●	●	●	○
9 中心語から連の時間的順序が分かる。	○	○	○	○	○	●	●	●	○
10 詩の内容の大体から使われている技法と効果がある。	○	○	○	○	○	●	●	●	○

### ③ 題材目標の設定(個別)

B	日本語独特の言葉の活用に慣れ、日常生活で使おうとする。	言葉の音数から詩のリズムを読み取る。	①: 秋の言葉に関連する上位概念・下位概念を理解している。 ②: 下位概念の語句を理解している。 ③: 物の名前や動作などを話している。	①: 音数から詩のリズムがわかる。 ②: 示された秋の関連語句を分類できる。 ③: 言葉と絵を結び付けることができる。	①: 語のまとまりやリズムに気をつけて音読しようとしている。 ②: 連の似ているところ、違うところを読み取ろうとしている。 ③: 音の数に気をつけて読み取ろうとしている。
---	-----------------------------	--------------------	--	---	---

目標を達成できるように支援を把握できる。支援の上げ下げ3段階!



### ④ 題材計画

8 題材計画

	学習内容・学習活動	重点目標の評価基準	観点	評価方法
1	言葉を広げよう。 ・春夏秋冬を分けよう。 ・ひらめきマップで秋の言葉を集めよう。 ・音読しよう	◎一人一人の詩の感じ方に違いがあることに気付くことができる。(知) ・中心語と内容の大体を捉えることができる。(思)	◎知・技 ・思・判・表 等	発言 対話 観察 学習ノート
2 【本時】	詩を読み取ろう。 ・音読しよう。 ・秋の言葉を分ける。 ・秋の詩を読み取ろう。	◎語のまとまりやリズム、くりかえしなどに気付くことができる。(思) ・進んで詩の内容を捉えようとしている。(主)	◎思・判・表 等 ・主	発言 対話 観察 学習ノート
3	詩をつくらう。 ・秋の詩を見分けよう。 ・秋の詩を想像しよう。 ・絵に表して音読しよう。	◎詩の繰り返しの表現や言葉の響きなどに気をつけて音読したり、様子を想像したりしている。(知) ・想像しながら音読を楽しもうとしている。(主)	◎知・技 ・主	発言 対話 観察 学習プリント

①言語理解度の確認  
分類や音読

②作詩へつなげる内容理解  
詩の構成、動作化など

③目標達成できているかどうかを確認。  
教師の内省!



すけっと セミナー

### ⑤年間指導計画での位置づけ

生活単元

日本のおまつり わっしょい!

〇〇祭りを6年生と楽しもう!!

国語

算数

かたちたんてい!!!

令和の大詩人 秋

学期に1回程度で計画

教科の横断、合科、複線化としての可能性を秘めたカリキュラム編成を

23

すけっと セミナー

### 導入時：教材「とんぼのめがね」多様性配慮

描画：とんぼのイメージ

時間軸：言語

認知把握  
描画で評価検討

ごご しょうご ごぜん  
よる ゆうがた ひる あさ

24





## 最後に・・・

- ①授業づくりは実態把握から
- ②教科の目標・特性を段階的に
- ③支援と評価を3段階
- ④教師は子供に委ねる(選択、見守る)  
姿勢



29



御清聴ありがとうございました。



30